

2016 年 新春のお慶びを申し上げます

謹賀新年

皆様には佳き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

業界は急成長級の変革期ですが、国家試験一次試験の合格者の多さには驚きでした。最終合格者数もきつと歴史上最多になろうかと思われまふ。新人が増えると仕事が奪われるから…と内心脅威に感じられる方もいらっしゃるかもしれませんが、ご自身の実力が確たるものであれば心配に足りません。

実力と言うのは、語学力やガイド技術だけではなく、「滲み出る性格の良さ」「確実なパソコンの基礎操作力」「ビジネスセンス」「営業力」も実力のうちです。業務を依頼する側は、「すぐに連絡がつく」「ぐじゃぐじゃ細かく言わない」「基本的な安心感がある」「感じが良い」…こういう人材に声をかけたいと本能的に思ふものです。

しかし何と言っても情報量や技術は必須。人より秀でていなくても、人より劣らない品質キープに、GICSSをお役立て下さい。

理事長 ランデル洋子

12/2 仏教をガイドしよう研修 (東京)

「仏教がこんなにも面白い!？」とは発見でした。袈裟姿の酒巻寛友上人が穏やかな口調で話されると、「仏教」という深遠なテーマが驚くほどシンプルに、ストンと心に落ちるのです。

- 仏教は宗教というより哲学である。
- シルクロードを通して日本まで伝わった大乘仏教は、集団で移動する際に必ず僧を伴ったので「大きな乗り物に乗った仏教」と呼ばれる。一方 東南アジアでは小さな地域の中に僧が住み、托鉢をしながら教えを説いたので小乗仏教と言う。
- 僧は極限の苦行の果てに、目の前に人間の姿をした仏が現れることがあると言う。それを形にしたのが仏像。それに出会うのが仏教の修行の目的。
- 「アンケート」で「はい」と「いいえ」の間の「どちらでもない」を好む日本人。これは優柔不断ではなく、「真ん中を歩む」という仏教の中道思想に基づくもの。



「知識をいかにインタープリットするか」を実演してくださったのはベテランガイドの福田誠さん、千田直子さん、松岡明子先生。3人3様の切り口と語り口でのモデル・ガイディングはそれぞれの輝きを放ち、「自分のスタイル」を極めることの大切さが分かりました。最後は小グループに分かれて2分間のガイディング練習。GICSSの会員はこうして力をつけ、高くたくましく飛ぶのです! 興奮と感動と気づきをいっぱい頂けた研修でした。

素晴らしい企画、入念な準備をありがとうございました。

(講師:酒巻寛友/スタッフ:青井千里/レポーター: 薮玲子)

●一口メモ:

- ① 中道思想のもう一つの例は男子の節句の歌。「甕の波と雲の波、重なる波の中空(ながぞら)を、橘かおる朝風に、高く泳ぐや、鯉のぼり」甕の波は実生活、雲の波は社会をあらわす。
- ② 毎日仏壇に向かって祈っていた人が亡くなった時、人型の小さな木札に人の名前を刻んで仏壇の中に入れてあげたのが位牌の始まり。
- ③ 日本での仏塔の建設費は一層が一億円。三重塔は3億円。五重塔は5億円。世界中の仏塔に納められているお釈迦様の骨を集めると、象一匹が作れると言われる。現在、釈迦の骨はインドの観光局が管理している。

「解る」ことの心地よさに気づき、「そうか、ガイドはこういう喜びと楽しさを人に与えられるのだな」と感じ、目標と課題が見えたことは、大きな収穫でした。仏教の歴史、教義、寺院建築、仏像、出家について・・・酒巻上人の話網羅したテキストがまた素晴らしい! 仏像の勉強の後には「仏像当てクイズ」で復習、と至れり尽くせり! 勉強したての仏像の特徴を挙げながら、名探偵のごとく正解にたどり着く生徒達もたいしたものです。

参加者の声:

- ・酒巻先生のユーモアを交えての話に感動した。
- ・中道思想、對機説法、マリア思想とても印象に残った。
- ・「他」と「個」の話、宗教観の民族性への影響を理解することは異文化交流に大事だと思った。
- ・神道・キリスト教徒の関係、起源と時代を経ての進化、建築の思想等、発見がたくさんあった。
- ・塔の構造、種類、特性よく理解できた。Stupa と Tower の違い、相輪の意味等興味深かった。
- ・2 分間スピーチは緊張したが良い刺激となった。資料、講師の先生のお話、充実して良かった。
- ・宗教としてキリスト教、他の宗教との共通点なども教えていただき役に立った。中道思想が良かった。
- ・3 人のかたの presentation 素晴らしく、グループ内の発表もそれぞれのスタイルを学べて有益だった。
- ・仏像の違いについて教えていただきとても勉強になった。これから仏像を見るのが楽しみ。
- ・丁寧に原理的な事を解説していただき理解が進んだ。
- ・木造層塔の耐震構造の話、とても印象に残った。



研修名・日程・会場等	
GICSS 検定 日光コース 座学勉強会 (東京) 1 月 8 日(金)、12 日(火)、16 日(土) 18:30～21:30 場所: 代々木青少年センター センター棟 106 号室	第 1 回は富士箱根コース、第 2 回は東京都内観光コースが終了。そして 3 回目に日光検定を開催します。勉強会ではナビゲーター・講師が参加者から発表された様々な情報にコメントを加え、実際にガイドングする際の工夫や技術の指導を行います。
GICSS 検定 日光コース (東京) 1 月 27 日(水)、28 日(木) 10:00～17:00 場所: 代々木青少年センター	審査会のあとは、TA(Tour Attendant)から AAA(Executive Tour Guide)の 6 段階グレードへの評価書が発行され、これをきっかけに参加者の多くが東京都内観光への自信が持てるようになります。
神戸研修 (大阪) 1 月 8 日(金) 10:00～16:00 講師: 田村聡子、 会費: 11,880 円(会員)、16,450 円(一般) 場所: JR 元町駅改札口(神戸)	クルーズ船急増地で注目の神戸について、ガイドブックにない非公開場所の訪問を含めて見識を深め、FIT やグループ、VIP ツアーに役立つ味違ったグレードアップの魅力ガイドングの参考にすることができます。 見所は、旧居留地の非公開、国の重要文化財 15 番館訪問。異人館【風見鳥、萌黄の館】での見のがせないポイントを押さえます。 北野異人館地区: 秘密の小道散策で、一般コースにない魅力スポットを紹介できるようにしましょう
現場 CC.まち歩き「神楽坂」(東京) 1 月 10 日(日)、13 日(水) 13:00～15:00 ナビゲーター: 一宮裕 場所: JR 飯田橋駅 西口改札前	神楽坂は、寺社仏閣あり、昔ながらの商店街あり、横丁や路地には花街の風情が残っていて、外国人のお客様にもとても喜ばれる街です。江戸時代は武家(大名、旗本、御家人)屋敷町と神田川の最後の荷揚げ場所。毘沙門天(善國寺)の麹町からの移転や花街の誕生で賑やかになり、明治に入って文芸家／芸能人があまた暮らしました。 【ガイドデモスポット】 1.牛込見附跡 2.外濠 3.神楽河岸／揚場町／軽子坂 4.坂下 5.見番横丁 6.熱海湯～小栗横丁 7.芸者新道 8.兵庫横丁 9.寺内公園 10.毘沙門天(善國寺) 11.菓店～光照寺 12.赤城神社
座学 C.C. (チャレンジャーサークル)「車」(東京) 1 月 17 日(日) 9:30～11:30 ナビゲーター: 城戸弘明 場所: 代々木青少年オリンピックセンター(東京)	自動車業界は今、大きな変換点を迎えています。近年の技術革新は目覚ましく、従来のガソリン車、ディーゼル車に加え、ハイブリッドや電気自動車、水素自動車、さらに海水で走るスポーツカーまで、私達の常識を打ち破るようなことが世界中で次々と起こっています。 日本ではなぜシルバーや白い車が多いのか、ナンバープレートの色の違いと税金の関係、購入とカーシェアリングのどちらが得か、温泉に入って宿泊もできる高速道路のサービスエリアなどの身近な話題から、F1 やスーパーGT、バイクの MOTO GP レースの楽しみ方、富士山を眺めながら乗車体験もできるサーキットなど、車に関するあらゆる情報を皆様と共有したいと思います。
関東新年懇親会 (東京) 1 月 24 日(土) 12:00～14:30 会場: 六本木 サテンドール 会費: 6,500 円 幹事: 城戸弘明、馬瀬マリハ栄子	「そうか、そうすればいいんだ、そんなときは!」と、ヒントになる語らい、「メンターとの出会い。」「へえー、そんなことがあるのですか…」「そんな時って、どうなさったんですか?」 「聞いて下さい、あり得ないですよねえ…」愚痴から得られる「自分へのセレンディピティのヒント。」あなたにとって情報満載の集いになるでしょうか? 主役は、「あなた」です。 ドカン、 ドカン 、ドッカーンと皆様のお申し込みをお待ち致しております。
座学 CC. 「銀閣寺」 (大阪) 1 月 30 日(日) 13:30～15:30 ナビゲーター: 玉田三絵 会場: とよなかステップ セミナー室 1C	禅、茶道、華道、庭園、たたみなど、日本の典型と言える文化これらの源流が室町時代、足利義光と足利義政によってはぐくまれました。その義政に牽引され花開いた、東山文化の結晶、銀閣寺をガイドできるようにしましょう。 テーマは、1.観音殿・東求堂・銀沙灘・向月台 2.香道・茶道・華道 3.義満と義政 等
日本のトイレ情報(TOTO) 研修 (大阪) 2 月 18 日(木)～21 日(日) 13:30～16:30 講師: TOTO 島田崇康、ガイドデモ: 福井道孝 場所: TOTO テクニカルセンター セミナールーム	1.講演「何か面白いぞ! 日本のトイレ」 ・日本のトイレの不思議 ・ウォシュレットはどのように普及したか ・話題のトイレスポット裏話(スカイツリーのトイレができるまで) など 2.ショールーム視察と解説 3.ガイドデモ(ガイド視点からの解説含む) 及び GICSS スタイル実習トレーニング
関西新年懇親会 (大阪) 1 月 31 日(日) 14:50～17:00 会費: 4,500 円、 会場: KOKO CAFE 幹事: 吉田英夫、山田展之	ランデル先生、松岡先生をお迎えしての新年会。皆さん、歌・手品なんでも結構です。 皆さんの特技・十八番を披露いただき楽しい新年会にしましょう。 皆さんの参加をスタッフ一同 心よりお待ちしております。
新人研修 A コース (大阪) 2 月 18 日(木)～21 日(日) 9:30～17:00 会費: 54,000 円(会員)、75,600 円(一般) 場所: とよなかステップ	実力が物を言う時代! GICSS の研修で、本当に役に立つ本物の力を身につけて下さい。通算受講者 4,050 名超の実績を誇り優秀なガイドを多く輩出している、業界で信頼度抜群の研修です。実務研修はリピーターの部分受講も歓迎です。 資格があるだけでは現場業務に繋がりません。資格+実務知識を習得しましょう。GICSS の新人実務研修は、即使える本物の実務力、ガイドングスキルが育成される定評のオリジナル特別研修です
新人研修 B,C コース (東京) B コース 2 月 25 日(木)～28 日(土) 会費: 54,000 円(会員)、75,600 円(一般) C コース 3 月 14 日(月)～18 日(金) 会費: 59,400 円(会員)、83,160 円(一般) 場所(B・C コース共): 代々木青少年オリンピックセンター	
* 東京・大阪とも、座学 C.C 参加費は 2,160 円、現場 C.C.まち歩きの参加費は 会員 3,240 円、一般 4,860 円	

9/18 日本橋をガイドしよう研修 (東京)

日本橋の老舗「伊場仙」14代目当主、吉田誠男社長より、日本橋の成り立ちや歴史、浮世絵の製作工程から価値基準まで多岐にわたる講義を受けました。吉田氏のご先祖は徳川家康と共に江戸に上ることを許された商人で、江戸後期からは初代豊国、国芳や広重などの版元として浮世絵プロデュース。日本橋文化の継承者とも言える方の、まるで実際に江戸を生きて来られたような軽妙な語り口に、受講生からは時折、大きな笑い声が上がっていました。

昼食は江戸好みの老舗「弁松総本店」のお弁当を頂き、その後は、松岡先生と芹田先生による街歩き実習で日本橋界隈を廻りました。ルート中、特に京漆器専門店「象作」での工芸漆器を使用した試飲と、三越地下道にある「稀代照覧絵巻」の見学は素晴らしかったです。

最後に寄った日本銀行では、専門のガイドさんがついて細やかに説明してくださり、こちらも貴重な体験で大変勉強になりました。



●一口メモ：

- ・当時の日本橋は日比谷の入り江を埋め立てた世界最大の土木工事によるもので、アムステルダム、ヴェネチアに匹敵する国際都市であった。(歴史・吉田社長談)
- ・江戸城(または日本橋)を起点として五街道を整備し、それらを放射状に張り巡らせたことから、江戸に人口が集中して経済や文化が花開いた。(商業や浮世絵の発達、識字率の高さ)



ナビゲーター：松岡明子・芹田啓子/スタッフ：長野雅子/ レポーター：葛西朋子)

9/26 金閣寺 座学 C.C. (大阪)



参加者7名、intensiveで内容の濃いC.C.。その美しさとユニークさ故、最近特に混雑ぶりが際立つ金閣寺では、グループで立ち止まって説明をする時間は非常に限られるので一言で簡潔な説明ができるように、また放火の話などnegativeな話題は見学前に説明しておく、現物を前にしたときはとにかく感動して頂きながら良い話をする事など、久保田ナビゲーターの豊富なお経験に基づく実用的なアドバイス満載の2時間でした。

情報アクセスが容易になった今、有償ガイドとしていかに付加価値の高いガイディングを行い、参加したお客様の満足度を高めるか等、徹底した事前リサーチの重要性に触れられ「ガイド道」の厳しさ・奥深さについて再認識させられました。

(ナビゲーター：久保田郁子/スタッフ：吉田英夫/レポーター：五歩一文字)

9/29, 10/3 明治神宮 現場下見 C.C. (東京)

参加者2分ずつガイディングを行い、声の大きさ・立ち位置・話す順序・聞き取りやすい言葉の選択などアドバイスしました。



スポット間の移動もガイド役に旗で先導してもらい、団体の場合は、旗をしっかりと掲げ時々後ろを確認する、公平を期すためガイドは歩いている最中はガイディングしない、FITならもちろん参道や森など歩きながら案内してOK等を確認しました。座学で原宿・表参道・青山の情報交換もできました。



●一口メモ：

- ・創建当時、植物学者が関東ロー層に合う種を指定し、各地から寄せられた10万本の献木は、95年経った今、見事に自然林の状態に育っている。参道の落ち葉も、専門の職員が毎日、手製の竹箒で掃き清め、森に返して天然の肥料として循環させている。

(ナビゲーター/レポーター：千田直子/スタッフ：加藤紀子、青井千里)

10/24 一般事象 座学 C.C. (大阪)



牧野正紀ナビゲーターによる「一般事象」C.C.では、「神社と日本の代表的な祭り」と「祇園と芸舞妓」の2つのテーマから1つを選択し、7名が発表を行いました。ガイディングには欠かせないトピックです。

「神社と日本の代表的な祭り」については、五十鈴川(伊勢神宮)での禊祓、祇園祭、岸和田のだんじり祭に関する発表の後、春日大社での禊祓や高山や博多の祭に話が広がり、「祇園と芸舞妓」については、芸舞妓に関する様々なアプローチからの発表の後、「一力」の内部の様子や奈良や大阪など京都以外の花街の現状など興味深い情報をいただくことができました。

「テレビ番組を録画し、ライブラリーのように活用している」といった実践的なお話も聞いた内容の濃いC.C.でした。

(ナビゲーター：牧野正紀 / スタッフ：山田展之 / レポーター：井上明美)

11/10, 14 浅草 現場下見 C.C. (東京)



定番スポットの浅草は、まず浅草文化観光センターの8Fから全体の眺望を確認し、雷門・仲見世・本堂へと続く王道コースを、参加者各2分ずつガイディング。

二天門近くの台東区民会館で小休憩した後は、ナビゲーター主導で下見ツアーを行い、東側は弁天堂・時の鐘・二尊仏、西側は影向堂・淡島堂・鎮護堂(おたぬき様)など普段訪れる機会の少ない場所をじっくり見て回りました。あいにくの雨も良い実地訓練になったと思います。

●一口メモ：

- ・1945年3月10日の空襲にあっても焼け残り、火を食い止める役割も果たした銀杏の木は宝蔵門の東側のほか、鎮護堂にもあり、内側が黒く炭化しながらも葉が生い茂っている。
- ・18世紀に建てられた淡島堂の建物は、戦後の一時、仮本堂として現在の本堂の位置で参拝者を迎えていた。

(ナビゲーター/レポーター：千田直子/スタッフ：長野雅子、加藤紀子)